

秋涼の候、貴職におかれましてはますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、平成二十八年四月十四日、十六日の二度にわたり震度七を観測した熊本地震により、本市は上下水道、道路・橋梁などの都市基盤や多くの住家などに甚大な被害が発生するとともに、最大で十万人を超える市民の皆様が不自由な避難生活を余儀なくされました。

発災初日から、職員一丸となって人命救助に懸命に取り組み、その後も避難所の運営、物資の搬送、家屋被害調査及び罹災証明書交付、家屋の危険度調査や応急修理など、刻々と変化する災害業務にあたってまいりました。この間、貴職から多数の応援職員を派遣いただくなどの手厚い御支援によりまして、ここまで対応できたものと考えております。改めまして、熊本市民を代表し、今回の温かい御支援に対して深く感謝するとともに厚く御礼申し上げます。

お陰をもちまして、地震から半年が経過した現在では、避難者の方々も仮設住宅等に入居されるなど、生活再建への歩みが始まりました。また、先般七十四万市民が心を一つに復旧・復興を果たすべく「熊本市震災復興計画」を策定したところであり、これからは、

本計画に基づき復興に向けた新たなまちづくりを進めることとして
います。

全ての皆様が震災前の安心できる暮らしを取り戻すまで、復旧復
興への道のりは長く険しいものと考えておりますので、どうか今後
も引き続き、多方面において貴職からのお力添えを賜りますようお願い
申し上げます。

末筆ながら、貴職の今後ますますの御発展を心から祈念いたしま
して、書中をもって御礼申し上げます。

平成二十八年十一月四日

支援団体代表者 様

熊本市長

大西一史

